

校長室から
(R元年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 78

令和2年3月9日(月)発行

ある新聞 記事より

朝日小学生新聞3/9より

東京都は、1944(昭和19)年11月24日以降、106回の空襲を受けました。特に1945(昭和20)年に5回の大規模な空襲がありましたが、死者数が10万人以上の3月10日の夜間空襲(下町空襲)を「東京大空襲」と言います。



【東京大空襲】1945年3月10日未明、アメリカ(米)軍のB29爆撃機約300機が、東京上空から33万発の焼夷弾(しょういだん)、建物焼きはらうための爆弾を落としました。現在の墨田区、江東区、台東区を中心に約40平方キロが焼け、推定10万人が亡くなりました。これ以降、名古屋(愛知県)、大阪、神戸(兵庫県)などが大規模な空襲を受けました。



7歳のころの中西進さん
＝本人提供

すべて焼かれ、戦争終わった

戦後75年

中西進さん・当時15歳 東京大空襲を語る



なかにし・すすむ 1929年、東京生まれ。国際日本文化研究センター(京都市)名誉教授。富山市の「高志(こし)の国文学館」館長。万葉集など古典研究の第一人者。

空が真っ赤／いたる所に裸の死体

75年前の3月10日、東京は、空からの攻撃(空襲)で焼け野原になりました。太平洋戦争(1941～45年)末期の「東京大空襲」で、10万人もの人が亡くなりました。当時、東京にいた国文学者の中西進さん(90歳)に体験を聞きました。元号「令和」を考えたと言われる中西さんは、令和を生きた子どもたちに、自分を「律して」生きてほしいと話します。(中塚慧)

3月10日の大空襲で、いまの東京スカイツリーがあるあたり、東京の下町がおそれまじく焼かれました。中西さんは当時15歳で、東京の杉並区に家族と住んでいました。「東の方を見ると、空が真っ赤に燃えていました。夜空は真っ暗で、何も見えませんでした。」

戦争末期は学校で授業が飛んでいったのか。すたはけになり、黒くなつて転がっていました。死体をいくつも見て、「ただ、ぼろぼろといた」といいます。「人が殺されるのがなんでもなくなりました。」

「空襲の翌日、高田馬場へ行くと、裸の死体がいっぱいあった。ものすごい臭い。着物が焼けて、臭い。着物が焼けて、臭い。着物が焼けて、臭い。」

「空襲の翌日、高田馬場へ行くと、裸の死体がいっぱいあった。ものすごい臭い。着物が焼けて、臭い。着物が焼けて、臭い。着物が焼けて、臭い。」

「空襲の翌日、高田馬場へ行くと、裸の死体がいっぱいあった。ものすごい臭い。着物が焼けて、臭い。着物が焼けて、臭い。着物が焼けて、臭い。」

自らを「律して」生きて

令和の時代となり、今年で戦後75年です。この元号について、出典となった万葉集を研究する中西さんはこう語ります。

「『和』は、『よい』というわい」といふ意味があります。『和』は心を通わせること。

「『和』は、『よい』というわい」といふ意味があります。『和』は心を通わせること。

「『和』は、『よい』というわい」といふ意味があります。『和』は心を通わせること。

「『和』は、『よい』というわい」といふ意味があります。『和』は心を通わせること。

「『和』は、『よい』というわい」といふ意味があります。『和』は心を通わせること。

新型肺炎
これがしりたい
きょうただけでお留守番する時間が増えて心配
東京都・大津督さん(6年)の保護者

「マスクを配りにきた」など、ドアを開けさせる新しい手口が出てくるかもしれません。インターホンにどう対応するか、家族でルールの確認を。もしものときのために、近所の連絡先や非常用持ち出し袋の置き場所をチェックしておきましょう。普段から家具の転倒や重いものの落下防止をしておいてください。
(子どもの危険回避研究所・横矢真理さん)

太平洋戦争が終わって今年で75年です。みなさんのおじいさん、おばあさんやその上の世代の「戦争体験」を聞いて、教えてくれないか。名前、都道府県、学年、電話番号を忘れずに、メール(asasho@asagaku.co.jp)、手紙(〒104・8433 朝日小学生新聞)で送ってください。しめ切り3月31日(火)。